

第09回

- 講演者：丹羽 美由紀 氏 (東京理科大学理工学部)
 - 題 目：補間理論と Lorentz-Zygmund 空間
 - 日 時：平成 16年 10月 21日(木) 16:30 〜 17:30
 - 場 所：数学科セミナー室 4号館 3階

補間理論とは、適当な条件の下で 2 つの不等式から多くの 第 3 の不等式を導く方法である。これは 2 つの空間の間の 空間 – 補間空間 – を構成するとも解釈できる。ふたつの L_p 空間、2 つの L_{pq} 空間を補間すると、それぞれ L_p 空間 $\square$ L_{pq} 空間が構成されるが、それらの空間に “重み” をつけると結果は複雑になり、大きな枠組の空間が必要となってくる。その必要とされる空間が、Lorentz-Zygmund 空間である。

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2004/009>

Last update: **2017/11/17 19:27**

